

情報教育演習II 第1回

はじめに

担当者

- 河野 稔(かわの みのる:健康科学部健康システム学科)
- E-mail: mkawano@ed.hyogo-dai.ac.jp(携帯電話からはQRコードをどうぞ)



授業の目的

この授業では、ICT(情報コミュニケーション技術)を活用した情報発信ができることを目的とします。

授業の内容

Web(ウェブ)を中心に、ウェブページの制作に関する基礎知識を実習します。実際にウェブページを作成しながら、HTMLやCSSについて学習します。また、いくつかのウェブ上で利用できるサービスを体験したり利用して、ウェブにおける情報の発信・収集・共有についても実習します。次の3つのテーマにわけて、実習します。

情報の構造

HTML(Hyper Text Markup Language)を習得し、情報の構造的な分類・記述について実習する。

情報の表現

CSS(Cascading Style Sheet)を習得し、構造化された情報の視覚的な表現について実習する。

情報の機能

ユーザビリティとアクセシビリティについて知識を深め、情報への機能の与え方について実習する。

テキストと資料

テキストはありません。適宜、プリントを配布したり、ウェブページを利用します。

- <http://arena.hyogo-dai.ac.jp/~kawano/?Lecture/JouhouC2010>

成績の評価

- 成績(100点)=提出課題(70点)+作成したウェブページへの講評(30点)
- 授業全体回数の3分の1以上の回数休むと、評価はなし
- 定期試験はなし

参考書籍

- エビスコム「HTML/XHTML&スタイルシートレッスンブック」、ソシム([Amazonでの紹介](#))
- 大友幹「詳細HTML&XHTML&CSS辞典 第4版」、秀和システム([Amazonでの紹介](#))
- 大友幹/半場方人「詳細HTML&CSS&JavaScript辞典 第3版」、秀和システム([Amazonでの紹介](#))

参考サイト

- The Web KANZAKI -- Japan, music and computer <http://www.kanzaki.com/>
- とほほのWWW入門 <http://www.tohoho-web.com/>
- World Wide Web Consortium <http://www.w3.org/>
- ラプラス取説研究所 - わかりやすさのための情報デザイン <http://www.laplace-lab.org/>
- ユーディット(情報のユニバーサルデザイン研究所) <http://www.udit.jp/>

- U-Site <http://www.usability.gr.jp/>

今回の内容

1. ガイダンス、ウェブの動向

- 授業全体の説明(ガイダンス)
- ウェブの動向

今週の宿題

テーマは、「自分だけが知っている興味深いサイトを探す」です。

- 実用的、ためになる、楽しめるなど、**有名ではない**興味深いサイトを探して、紹介・説明する
- ワードプロで、A4用紙1枚にまとめる
 - サイトやサービスの名前、URL(アドレス)
 - 何ができるのか、どこが興味深いのか、内容や機能を紹介する(500字以上)
- 提出方法
 - 印刷したものを、次回の授業のはじめに提出

ウェブの動向

ウェブ上では、これまでのマスコミからの情報だけでなく、一般人の発信する情報が話題となる傾向があります。様々なツールのおかげで一般人でも情報を発信できるようになったこと、さらにそういう情報が検索技術が進歩したことで見つけやすくなったこと、そして、ツールの機能が向上して情報同士が結びつきやすくなったことが、理由だと考えられます。

ウェブ上での情報の発信・共有

ブログ (blog)

登録した内容 (記事) を時系列順に配置して表示したり、記事に対して読者がコメントを書いたりすることができるサービス。日記的な用途で使ったり、ネット上のニュースや他のサイトに対して感想や評論を書くことが多い。「トラックバック」機能を使えば、異なるブログの記事の間でリンクを作ることができる。手軽にウェブページ (ウェブサイト) を作ることができる。

- livedoor Blog: <http://blog.livedoor.com/>
- はてなダイアリー: <http://d.hatena.ne.jp/>

SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

友人関係や職場の仲間など「人同士のつながり」をベースに、参加者がお互いのプロフィールを公開しながら、参加者同士のネットワークを広げたり、趣味・好みや仕事・所属によるコミュニティ (集まり) を作って、幅広いコミュニケーションを作ることを目的としたサービス。「友達の友達は、みな友達」をサービス上で体験できる。

- mixi: <http://mixi.jp/>
- GREE: <http://gree.jp/>

ソーシャルブックマーク

自分のブックマークを登録できるウェブサービス。ウェブページのURLを登録し公開することができる。他人と共有することもできる。大抵は「タグ」というラベルで、ブックマークを分類することができる。

- はてなブックマーク: <http://b.hatena.ne.jp/>
- liveboor クリップ: <http://clip.livedoor.com/>

注目されるウェブサイト

- ウィキペディア: <http://ja.wikipedia.org/>
 - インターネット版の百科事典。誰でも自由に参加でき、参加者の共同作業で作られている。内容の精度や信憑性は必ずしも保証はされていないが、幅広い分野の知識が記述されている。
- Googleマップ: <http://maps.google.co.jp/>
 - 世界中の地図や衛星写真を表示・検索するサービス。地図の拡大・縮小や場所の移動が、マウスの操作だけで、リアルタイムで行える。また住所や施設名などで、地図を検索することができる。Googleマップの機能を利用した、他のサービスが多数登場している。
- YouTube: <http://www.youtube.com/>
 - 動画を共有し視聴できるサービス。参加者は、動画をアップロードして公開し、他の参加者と共有することができる。ただ、一部で著作権を侵害した映像や過激な映像が登録されることもあり、問題となっている。